

鏡川流域パートナーシップだより No.99 R5.11.10



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

鏡川のほとりで川釣り女子会とワークショップを開催！

11月5日(日)、鏡川源流憩いの広場にて、川釣り女子会(『タケノコ食べて放置竹林解決プロジェクト』主催)とクリスマスオーナメント作り・コーヒーアート体験(『かわまり』さん主催)が開催されました！これまで、鏡川流域関係人口講座第3期にあたる「かがみがわフェスタ」に合わせて実施した講座の受講生2名が企画したものです。

「かがみがわフェスタ」の詳細はこちら



川釣り女子会の企画者・久保真希さんに、当日の様子をレポートしていただきました！

当初、集客に苦労しましたが、最終的には6名の女性に参加いただきました。季節柄、河原での寒さを考慮して焚火もしました。結果的に焚火の周りから動けなくなってしまい、本来の目的である川釣りにうまく誘導できなかったことが反省点です…。

ただ、参加者の皆さんには楽しんでいただけたと思います。

今回は、「川釣り女子会」というイベントを、「タケノコ食べて放置竹林解決プロジェクト」の一環として開催しました。初めての試みでしたが、「まずはやってみる精神」で開催しました。「かわまり」と協力して鏡川のほとりで屋外キッズワークショップと同時開催するのも初めての試みでした。



「かわまり」さんのワークショップにも4名のお子さんが参加してくれて、一生懸命に取り組む姿が微笑ましかったです。今後も、お子さんもお母さんも一緒に楽しめるような企画を作っていきたいと話合っているのでもちのこ「ぼっち」をぜひチェックしてほしいと思います。

ワークショップの企画者・「かわまり」さんからコメントをいただきました！



「かわまり」さんの Instagram でも当日の様子を見ることができます♪

家の中でもできることをあえて外でやるという体験を子どもたちとできて良かったです。この体験を通して、子どもたちが自然を身近に感じ、生きる力をつけることを願っています。



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっち」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっち」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android